

狭山茶ペーストなら **緑色** に染まるの？

広瀬斜子織の復元作業が進むうちに、狭山茶で緑色に染めたい思うようになりました。
緑茶は染めると緑色になるように思われますが、緑にはならず、黄色や茶色に染まります。

狭山茶ペーストなら、緑色に染められるかもしれません。

狭山茶ペーストは、成分は緑茶のみで、加熱しても緑色が消えず、すぐに色あせることもありません。

浸し染

狭山茶ペーストを薄めて、布を浸して染めました。



狭山茶ペースト



染色します



媒染します

狭山茶ペーストを薄めた液に15分間浸します。
媒染剤を溶かした液に15分間浸してから、水洗して、再び狭山茶ペーストの液に入れて、60~70度まで加熱します。最後によく水洗して、干します。



無媒染



アルミニウム媒染



銅媒染



鉄媒染

狭山茶ペーストを更に薄めて、媒染剤も少なくして染色しました。



無媒染



アルミニウム媒染



銅媒染



鉄媒染

引き染

狭山茶ペーストを刷毛で引いて、染めてみました。

染料を煮だす際に水をアルカリ性にして抽出し、顔料系の染料を用いて染める場合に使用されることの多い引きぞめの方法で実験しました。

布は16gの絹布2枚、炭酸カリウム、氷酢酸、呉汁(大豆の汁)で、下地処理を行い、狭山茶ペースト100gを刷毛で引き、媒染は酢酸銅、酢酸アルミニウムを使用しました。
染めた布を、蒸し器で1時間ほど蒸しました。



炭酸カリウム



鉄媒染液 銅媒染液 氷酢酸



大豆をふやかして、すりつぶして濾します。

呉汁(大豆の汁)、媒染液、狭山茶ペースト、氷酢酸を、刷毛を使って、引いていきます。



布を張り、刷り込みます。最後に布を蒸し器で染めます。



刷毛

狭山茶ペーストを水で薄めるときに、一緒に加えます。液をアルカリ性にして、色素が取り出しやすくなります。



銅媒染



アルミニウム媒染

緑茶で浸し染

緑茶で染色しました。

狭山茶ペーストで染色する実験をしてきましたが、煎茶で染めた場合と色の違いがあるのか調べることにしました。



無媒染



アルミニウム媒染



銅媒染



鉄媒染

狭山茶ペーストで染色したものと、色の濃さに違いはあるものの、色味にはほとんど差がありませんでした。

まとめ

狭山茶ペーストから染色の実験を始め、緑茶でも染色を試してみました。
結果は、緑色に染めることはできませんでした。

銅で媒染して、少しでも緑がかかった色になるだろうと期待しましたが、実験ではオレンジがかかったような茶色になりました。
鉄媒染して染めた、グレーは紫色がかかった色になりました。